令和5年度丹波篠山市学力・生活習慣状況調査及び、全国学力・学習状況調査

|  |
| --- |
| 丹波篠山市立城東小学校　　学習・生活習慣に関する調査結果の概要に係る資料 |

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査及び、全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

　本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対して支援していただければありがたいと思います。

１　丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（５年）及び全国学力・学習状況調査（６年）の結果について

【国語】

説明文や物語文の読み取りに課題があることが分かりました。物語文では、主人公の気持ちの移り変わりを文章の表現から読み取れていなかったり、文章全体を読んで感じたことや考えたことを共有するのができていなかったりしました。また、自分の考えを書くことに関する問題では、与えられた条件が達成できていなかったり、うまくキーワードが見つけられていなかったりしました。

この課題に対して、ペアやグループで話し合うような対話的な授業を多く取り入れることにより、相手の意図・思いを知り、理解していく力をつけていきます。そして、感情表現の細かなニュアンスの違いに気づくことができるように、その時々で教師が気持ちを代弁したり、友だち同士で伝え合ったりしていくことも大切にしていきます。また、自分の考えを書くことに関しては、文字数や目標が分かるワークシートを作成するなど、発問に対しての答えを自分の言葉で伝える時間を確保できるようにしていきます。

【算数】

小数点を伴う引き算やわり算の計算に課題が見られました。位をそろえていなかったことによる誤答や、難しいと思って諦めてしまったり、筆算の仕方がしっかり理解できていなかったことによる誤答と推測します。また、図形の問題では、台形や三角形の性質を理解できているかを問う問題に課題が見られました。

この課題に対して、小数の計算も図形の学習も、計算方法や公式を忘れてしまうことが予想されるため、単元が終わってからも授業中や家庭学習等で反復練習を取り入れていきます。どちらの単元も年に数回しか出てこないため、既習内容を復習してから学習する等、少しでも子どもたちの苦手を取り除けるようにしていきます。また、各図形の性質について理解するために、自分なりに言葉や文章で説明する時間を取り、相手に自分の力で説明する活動を積極的に取り入れていきます。

２　生活習慣・学習習慣（３～６年）について

全国平均を上回っているものとして、「自己肯定感」の中の「充実感と向上心」「感動体験」の項目では、肯定的な回答をしていました。項目の中のいくつかの質問から、毎日の生活で家族・友だち・先生の支えを感じていることが分かりました。また、学級の絆を感じている児童もたくさんいることが分かりました。生活習慣については、自分のよいところやがんばりを認め、それによって達成感や充実感を感じている児童がたくさんいることが分かりました。学習時間や読書量については、どの学年においても二極化が伺えました。読書離れについては、全国的にもニュースになっています。本を読む楽しさを味わえるような活動を様々な場面で行っていきます。

今後、より良い生活・学習習慣が身につくよう、ご家庭と連携を行い、家庭学習の習慣づけや読書の推進を図っていきます。学校においても、「たのしい・わかる・できた」と感じられる授業づくりを目指し、自己肯定感が高まる活動を推進します。